

4月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

■ 巨峰誘引

テープナーを使って枝を棚線に縛る作業をした。誘引をすることで、枝同士が被るのを防いだり、空いたスペースに枝を動かして埋めることができた。新梢が伸びることを想像しながら枝の配置を考えるのがとても難しかった。



■ ジベレリン処理1回目

ジベレリン処理は種無しぶどうを作るための重要な作業で、水にジベレリン粉末を溶かした液を、花穂という実の部分に漬けて行った。

花が満開になった日から3日以内が適切な処理のタイミングと言われていて、この作業が遅れると、実に種が入ってしまう。すべての花が同じタイミングで咲くわけではないので、毎日1房ずつ確認する必要がある、とても手間と時間がかかった。



活動を行った感想など

※長梢栽培（ちょうしょうさいばい）
枝を長く残して樹勢を抑える栽培方法

4月頭に芽が出て、暖かくなってきたと思ったら、すぐに枝が伸びてハウス内が緑で覆い尽くされた。毎年のことだが、植物の生育スピードの速さに驚かされる。また、初めての長梢栽培で慣れない作業が多いが、その分学びも多くあり勉強になっている。

今後の目標など

借りている畑について、4月から本格的に整備を進め、ジャングルのような状態から少し片付いた。整備は想像通り大変で、なかなか終わりが見えず途方に暮れていたが、綺麗になっていくにつれて、通りがかった人が声をかけてくれるようになった。近所の農家の方が気にかけてくれて、必要な機械を貸してくれたり、地域の集まりの時に皆んなで手伝おうと言ってくれたりしたようで、とてもありがたかった。手を貸してくれる方の協力を得ながら、来年には苗を植えられるように頑張りたい。

